

令和元年度第2回碧南市芸術文化ホール指定管理者審査委員会 会議録

1 日時

令和元年8月24日（土）午後2時から午後3時30分

2 場所

碧南市民図書館2階会議室

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者

清水裕之(委員長)、小林尚、靱山勝人、石川善博、宮本美枝子、杉多鶴、金沢宏治
計7人

(2) 欠席者

なし

(3) 事務局職員

教育部長 奥谷直人、文化創造課長 杉浦宏真、庶務係 新実浩美
計3人

(4) 指定管理者

芸術文化ホール館長 島英之、芸術文化ホール副館長代理 杉浦由加里、
芸術文化ホール副館長 小林ひとみ(9/1～着任)
計3人

4 傍聴者

なし

5 議題

- (1) 令和元年度第一四半期実施事業報告書について
- (2) 令和2年度事業計画（案）及び第二期事業計画（案）について
- (3) 点検評価項目及び事業報告書の見直しについて

6 議事の要旨 【 議事の進行 清水委員長 】

- (1) 令和元年度第一四半期実施事業報告書について
指定管理者が資料に基づき、説明。

< 意見・質疑 >

【A 委員】 報告内容について、質問や意見はあるか。

- 【C 委員】 施設の稼働率について、こちらの表が前年対比で書かれていますが、直営から指定管理に変わった時に、前年度比でこれだけ伸びたという報告で今まできていると思いますが、四半期や半期では、利用日数に対しての稼働率がどこかに記載してあるともう少しわかりやすいと思う。これはあくまでも前年対比について、四半期の稼働率が、例えばエメラルドだと67%、会議室は40%だと思いますが、そこがもう少しわかりやすく表としてあると、見やすくなると思います。
- 【A 委員】 利用の日数とかいろんなところが多少落ち込んだけれども、公演利用が多かったから利用料金が全体でも良かったということか。
- 【A指定管理者】 はい。
- 【A 委員】 これではいろいろ分かりにくいので、前年度比だけでなく、その前からどうなっているかの傾向が分からないか。
- 【A指定管理者】 はい。昨年、第一期の5年間だけの表を月毎で作っておりますが、4月は3割ほど、そこから5月まで落ち込み、6月に4月より少し上がるという傾向です。そこが第1四半期以降、各稼働が増えていく中で、年間を通しては、昨年対比でも少しずつ上がってきておりますが、ちょっとこの表だとわかりづらいです。
- 【A 委員】 もう少し経ったら、そういうのも教えていただきたい。
- 【A指定管理者】 はい。
- 【E 委員】 レ・フレールピアノコンサートの表だが、とても人気だったと聞き、チケットも全て完売になったとのことだが、この方たちは講師料・出演料が0円になっているが、どうしてか。自前で来ているのか。
- 【A指定管理者】 いいえ。委託料が下段に記載してあります。
- 【E 委員】 委託料の中から出しているということか。
- 【A指定管理者】 はい。報償費の講師料・出演料は個人にお支払いしている金額を記載しており、公演は委託料として支払っており、中段下に記載してあります。
- 【E 委員】 はい。分かりました。
- 【A 委員】 委託料で気になるのは、荒木とよひささんの委託料で、予定金額より大幅に減っているがなぜか。

【A指定管理者】 はい。委託料の部分と、合唱団や出演者の部分に変更になり、違うところからの合唱団や出演者との連携事業で計画していたが、なるべくなら地元の方に来ていただき、荒木さんと一緒に歌を歌ってもらいたいということで変更になったため、連携調整費を事前にとっていたのですが、講演料ともに安くなったということです。

【A 委 員】 分かりました。完売するような企画が出来るのはいいことである。あつという間に完売したのか、割とじわじわと完売したのか。

【A指定管理者】 割とじわじわと動いていました。完売直前の動きはファンクラブの集計の行き違いがあり、思っていた数字より多く、初めに聞いていたオーダーより多かったために、完売となってしまいました。

【A 委 員】 最初のページのへきなん花まつり藤まつりは、こちらは何も払ってなくていいのか。

【A指定管理者】 はい。こちらの方も、ホールを利用されている歌声喫茶歌の玉手箱というグループの発表を藤棚の下でやりましょうという企画なのと、1人でも参加者を増やしていきたいという意向もあり、準備だけは私たちがさせていただいておりますが、出演料などは一切ありません。

【A 委 員】 キーボードやスピーカーはホールのものか。

【A指定管理者】 はい。

【A 委 員】 ご苦労様。では、他はよろしいか。

(2) 令和2年度事業計画（案）及び第二期事業計画（案）について
指定管理者が資料に基づき、説明。

< 意見・質疑 >

【A 委 員】 まず、第二期5ヵ年計画（案）について質問や意見はあるか。

【C 委 員】 施設の改修計画というのは、いろいろな市や町で進めていると思うが市と指定管理者との関係性の中で、どのように進めていくのか。今、5ヵ年の計画案で事業計画を示しているのだが、改修計画がこの間にあるのであれば、事業自体をストップしなければいけないので、市と指定管理者が話し合いながら、長寿命化を考えて計画をしていくとい

いと思うが。

【A 委 員】 今、具体的な改修や運営に係ることはどのようになっているか。

【事 務 局】 今の改修計画としては音響設備の改修を昨年度から行っており、設備の改修としては照明設備・調光卓の改修等をホールの改修計画で進めていき、それ以上の改修計画は、まだ未定となっている。

【A 委 員】 今の2つの音響・照明はホールを閉める必要はないと思うが、特定天井はどうなっているか。

【事 務 局】 特定天井につきましても、まだ未調査の状況である。また具体的にいつやるか等も未定である。

【A 委 員】 それが入ってくる可能性はあるか。ここはロビーが対象ではないか。

【A指定管理者】 はい。エメラルドホールの客席とロビー、シアターサウスのロビーが対象である。

【A 委 員】 それはまだ行政の中の予算の関係で難しいと思うが、もしその話があると変わってくると思うが。

【事 務 局】 補足だが、指定管理者から5ヵ年計画として出してもらっているが、委員長からの、市の方は、とのことだが、実施計画の中で3年間をスパンとしたローリングになっており、その中で先程事務局より説明させていただいたが、次に照明にいけたらと我々としては予算要求しておるが、先程言われた天井の関係のことも入ってくるかどうかは財政や建築課と調整しながらやっていくことである。当然ホールの使用に大きく影響し、指定管理者の運営にも関わってくることだと思うので、3年と言わず長いスパンで検討出来たらと思う。

【A 委 員】 疑問に思ったのだが、1枚目が市民の参加の話で、2枚目が事業の話だが、この2つがどう連携していくかの関係性が弱い。そこをもう少しプログラムの的に落としていくといいと思う。もう一つは、書いてあることはとても良いことが書いてあるが、1年目2年目3年目4年目5年目となった時にここに書いてあることがプラスで加わっていくのか、ここに書いてあるものを何かをやめて次にいくのか、そこはどうなっているか。全部積み重なっていくと量がすごいことになると思うが。

- 【A指定管理者】 はい。鑑賞事業の部分は毎年度変えているが、鑑賞事業の中や、創作・育成の中の事業を少し変えていくことで参加型の事業を増やしていくことの計画はしておりますが、具体的にどういう風にとまでは計画を立てていない。
- 【A 委 員】 トピックはいいが、全体を継続していく事業と、1つの帯の中でトピックを創っていく事業とを、もう少し詳しく一覧表（方向性）を作った方が分かりやすいと思うが。例えば、世界とつながる文化事業や新しいメディア芸術など、いろいろな方向性があると思うが全部やっていくのは大変。碧南の芸術文化ホールとしては、やはりいいものを鑑賞事業にしているので割と世界水準のものをやっていきましょう、ということだと思うが。
- 【A指定管理者】 こういった5年間の目標を続けることによって、いろいろな文化事業を通して知っていただく、そして地域の方にも興味を持っていただくことを私たち施設が関わっている地域の方たちと一緒に分かち合いながら広げていくことを計画している。
- 【A 委 員】 もう一つ気になっているのが、5年後の市制75周年・開館30周年ということだが、これは指定管理者というより市の方で何か企画があるのか、それとも指定管理者へ任せているのか。
- 【事 務 局】 昨年度が碧南市制70周年の記念事業があったが、基本的には市の方向性としては10年単位の年に記念事業をやっていこうと、ただ5年単位でも過去にやっておったが、特段、市制の周年事業として前に出していくことは今のところは方向性としては固めておらず、過去から5年の周期での周年事業について取り組んでいない。ただ、それぞれ施設の開館の周年事業については、その都度取り組んでいるところもあるので、ここは指定管理者が大きく芸術文化ホールの30周年を広く祝っていただくとともに、市制の合同単位の年だが、市制も意識していただくような形で取り組んでいただけたらなと思っている。
- 【A 委 員】 ということは、プラスの予算がくるとか、こうしろ、ああしろなどということはないということか。
- 【事 務 局】 はい。去年のような市制記念として委託し、お願いするようなことは

ございません。

【A 委員】では、指定管理者の方で考えていただくということでよろしいか。

【事務局】はい。

【A 委員】そうすると、図書館と連携か何かがあると思うが。

【B指定管理者】はい。以前私たちが指定管理に入る前の、開館20周年の市の方たちが開催した式典も見てきているので、その時に図書館のキャラクター（へきにゃご）が出てきており、今回もどこかで連携出来るように事前に図書館と打ち合わせをしていく必要があると思う。

【A 委員】まだ先の話になるが、よろしくお願ひします。では、これをベースに令和2年度の事業計画書（案）を見てもらい、それが合っているかどうかということだが、ボランティアの事業をここに入れてきたということか。

【A指定管理者】はい。

【A 委員】それとエメラルドホールのオペラは継続で、世界的なことでは辻さんやカルテットを入れていくということになるのか。

【A指定管理者】はい。ヤマトストリングカルテットはクラシックの公演だけではなく、映画音楽やポップスをアレンジしているグループなので、クラシックの公演に特化した事業が2公演続くということではない。

【A 委員】メディア芸術はどうするのか。

【A指定管理者】こちらは今年度実施するが、来年度は実施いたしません。

【A 委員】すみません。1年見間違えていた。来年度は東京オリンピック関係で食文化など多彩な文化との接点ということか。

【A指定管理者】はい。19.へきなんアートフェアに記載したが、マルシェというのを提案書に記載しているのだが、こちらがまだ定期的な開催が出来ておりませんが、地域の方に参加してもらい、地域の食文化を広めていくことを定期的で開催していこうと考えている。

【A 委員】市民参加型プロジェクトの積極的な普及活動とは何か。

【A指定管理者】フルーツ体験ワークショップの創作事業の欄の、4事業が主に市民参加型プロジェクトになり、今も公演は大変好評をいただいている。こちらが積極的に発信していくとともに、市民ボランティア事業の、市

民が企画している事業も弾みをつけてどんどん外に発信していきたいと考えている。

【A 委員】 これとこれの対応がもう少し分かりやすく書いてあるといいと思う。全部書く必要はないので、特に重点項目を記載するといい。

【A指定管理者】 はい。

【A 委員】 他に何か質問はあるか。

【C 委員】 令和3年度に社会的遺産（レガシー）として記載してあるが、すでに事業の中で碧南ロックG I Gなどは早々にレガシー的な意味合いのある事業かと思うのだが、そういったところが令和2年度までにどこまで創れるかが課題になると思う。

【A指定管理者】 はい。

【A 委員】 やはりトピックではなく継続性の話になるということである。社会的レガシーというのは何でやっているのかをしっかりと定義し、具体的にやっておかないといけないことである。

【A指定管理者】 はい、その通りである。こちらを書いた時に大浜の方にお寺や境内など広いスペースのある場所が多くあり、てらまちウォークだけでなく、その場所をお借りしてジャズのコンサートを開催したり、てらまちウォークと今まで連携出来ていないので、連携として芸術文化ホールの登録アーティストさんに出演いただくなど、そういったところで碧南市の中での繋がりを作って、こういった施設があり、こういった活動をしている方たちがいますとマッチングしていけたら私たちの方にもまた戻ってくるような、そういったことが出来ないかと思っています。他にもお寺や碧南にも古くからの歴史もありますので、そういったものも取り上げ、見ていただくようなことが出来ればと思っています。

【A 委員】 はい。分かりました。もう少し関連を付けながら分かりやすくしてください。

【A指定管理者】 はい。

【E 委員】 1つ質問ですが、普及事業の20. 市内施設連携公演ですが、美術館・水族館などの会場や施設を上手く利用していくとのことだが、今では無我苑と美術館は連携して発表等しているが、水族館はリニューアル

後、特に広がって全面的に入口も1つになり、ビオトープもありますが、2階がすごく広がっているので、そこで上手くやれると子供たちも楽しめると思いますので、ぜひ水族館を通して試してみてください。

【A指定管理者】 はい。分かりました。来年度は水族館と積極的に連携していきたいと思います。

【A 委 員】 はい。お願いします。では、よろしいか。

(3) 点検評価項目及び事業報告書の見直しについて
事務局及び指定管理者が資料に基づき、説明。

< 意見・質疑 >

【A 委 員】 前半の点検評価項目について意見はあるか。

【D 委 員】 先程の第二期5ヵ年計画のいろいろな項目が今後の評価の対象になってくると思うが、評価するにあたりリンクされているか。

【事 務 局】 先程の5ヵ年計画とのリンクというよりは当初の募集の際の応募書類の内容を網羅しているので、そちらに書かれている内容であればリンクしている。

【A 委 員】 前回の評価の際に分かりにくかったのは、どこの何が対応するのか、というのが分かりにくかった。この点検評価表の各項目に対し、どの事業のどの部分が当たるのかという一覧表か、他に何か分かりやすいものにしてもらった方がいいと思う。それを突然言われても大変だと思うので、今から5年あるからその表を作ってもらうように頑張ってもらった方がいいと思う。前回、すごく分かりにくかったので。逆に言うと、各項目に対し、私はこれをやりました、というのがきちんと記載されていると、ちゃんとやったのだなと分かりやすいが、どこに記載されているのか、何もやってないではないか、となってしまうといけないので、そこの工夫をしてもらえないか。少しめんどくさいが。

【B指定管理者】 はい。今も事業報告書の中に実施事業の事業名だけの一覧で、そこに

事業に対する集客指数が記載されているものがあるが、市と点検評価をする時にも、この事業がこれの採点に当たりました、というのが書いてあり、それを元にお話しさせていただいているので、その内容を事業報告書の中に入れる必要があると話しておりました。

【A 委員】 ぜひそれをお願いします。我々としてはこれを見て採点するので。

【B指定管理者】 はい。それがあつた上で、更に事業の詳細も後ろにくるような形、事業報告書の最初に点検評価とリンクするものが頭にくるような形で変更させていただきます。

【A 委員】 お願いします。では、内容は良いですか。もう少しこれとの関係を整理していただくということで。

【B指定管理者】 はい。先程の5ヵ年計画もやはりどんな事業が5ヵ年の動きの中でリンクしているのかというものがないと分かりづらいので、入れさせていただきます。

【A 委員】 では、それが1枚あつて、その後に毎年の評価があると分かりやすい。そのようにお願いします。

【B指定管理者】 はい。ありがとうございます。

【A 委員】 あまり難しくしないでください。読むのが大変になりますので。

【B指定管理者】 はい。文字と枚数が多くならないようにします。

【G 委員】 今回から次期の5ヵ年なので、事業面を厚くして評価することはとても良いことだと思うが、「市民協働に関すること」の点数を下げているのに、ここの事業展開では市民が主役だとか、その整合性が合っているのかと思う。細かいことを言うといろいろあるが、そこは整合性をとらなければいけないのか、どうなのかというところではあるが。

【A 委員】 市民協働が2点下がっているのか。

【G 委員】 最後の評価の時にこの評価表を合わせるのか、ここの段階でこの評価を検討すべきなのかということも含めて、どうするか。

【A 委員】 もう一回検討した方がいいか。

【D 委員】 第二期5ヵ年の方針を更正し承認しているのだから、今後これの具体的な事業を評価していく形になるので、それとこれが上手くリンクしていないと難しい。

- 【事務局】 はい。一度、第二期5ヵ年計画（案）と点検評価表とのリンクを確認させていただきまして、次回11月の審査委員会の時に、指定管理者から出していただいている令和2年度事業計画（案）を11月に審査していただくのですが、こちらの表の中にどの視点とリンクさせるのかということも併せて分かるように表示して頂ければ、と考えます。
- 【A 委員】 逆に今それを作ってもらってここで見せてもらうのと、今の話の中で、市民協働が6点に下がってしまったのを、ひょっとしたら、ちょっと上げて貰った方がいいかもしれない。
- 【事務局】 はい。もう少し見直して元の点数に戻すか、その分はどこかで調整しないといけないので検討します。
- 【A 委員】 今日は今の議論で、もう一回最終まとめをする。
- 【D 委員】 細かい話だが、水戸芸術館というのはまだ残しておくのか。
- 【事務局】 はい。こちらは委員長からもどうするのかとお話しをいただいておりますが、昨年度、5年間をやるにあたって水戸芸術館に担当の者が連絡をとったところ、難しいとの話があったと聞いておりますが、その時にはっきりとやめましょう、とまでの話にまで至っていない状況なので、一応残してあるということです。
- 【D 委員】 その状況なら他館との連携だけでいいと思うが。これだけ特別にわざわざ名前を出すのでその可能性が高いのかと思ったので質問した。
- 【事務局】 はい。募集要項では水戸芸術館または他館と載せてあるので、募集要項をそのまま引っ張ってきて、このような形で残してあります。
- 【A 委員】 どうするか。私も同じようなことを聞いたのだが。
- 【事務局】 はっきりと切るということであれば消します。
- 【G 委員】 現実的ならば切っても仕方がない。引きずっても仕方がない。
- 【A 委員】 相手方が難しそうであれば切っても仕方がないか。
- 【事務局】 では、こちらの水戸芸術館は削除することとします。
- 【A 委員】 はい。
- 【D 委員】 平成33年などと記載されているところがあるので令和に直すように。
- 【事務局】 はい。
- 【A 委員】 そういった細かいところは直しておくように。

それではよろしいか。他に意見もないようなので、これで委員会は終了することとする。よろしいか。

< 全委員の賛同 >

【事務局】 それでは、これにて委員会を終了といたします。皆さまご協力ありがとうございました。